

会員に入会されますと月刊誌「道路」をお送りします。
最新号のみ購入希望の方は info@road.or.jp までお申し込み下さい。

道路

Road Engineering & Management Review

9
September
2016
Vol. 906

C O N T E N T S

4 巻頭インタビュー

多様な主体が道路空間を利用するために必要なこと

大串 葉子

特集

多様な主体による道路空間の活かし方

12 道路協力団体制度の創設について

民間団体等との連携による身近な課題の解消や道路利用者ニーズへのきめ細やかな対応

五十川 泰史／竹村 雅樹

16 市民の暮らしを支える伝統の「土佐の街路市」

道路占用を活用した高知市の商業振興施策が県都の新たな観光資源に

野田 真也

20 ICTを活用した市民との協働による「ちばレポ」

地域の課題解決に参画する市民が支える千葉市の道路維持管理

斉藤 平

24 道路の維持管理担う人材を産官学連携により養成

長崎大学の「道守」資格、地元自治体の発注工事・業務への活用進む 高橋 和雄／松田 浩／池田 正樹

28 企業・法人の社会貢献の場となる歩道橋ネーミングライツ事業

既存施設を活用して自主財源を確保するさいたま市の取組

福山 朝子

33 交差点

34 オープンカフェ -sidewalk cafe-

地域いきいき：関東

36 国道17号武蔵浦和駅周辺地区の自転車通行空間整備の取組

安全な通行のために路面表示を工夫

黒澤 稔

リレー連載 道の駅 - 地方創生の現場から -

38 第11回 道の駅「どんぐりの里いなぶ」自然・山里体験の機会創出し、都市と共生する山村づくりを進める

リニア中央新幹線の開業見据えて着地型観光の交流拠点を目指す

青木 正道

ZOOM UP 道路技術の最前線

40 トンネル切羽前方探査の手法開発

掘進1カ月分、約200m先の地山状況を短時間の削孔により高精度で事前に把握

木梨 秀雄

平成の歴史街道を往く - 歴史の道調査報告書を踏まえて -

42 第12回 東海道を往く

その式 二川宿～熱田宿

鈴木 和平

寄稿

46 19世紀フランスのエンジニア・エコノミストとJules Dupuitの業績

中村 英夫

49 国内のうごき

32 特集を終えて 55 統計資料 62 編集後記

50 協会からの報告「平成28年度道路功労者の表彰」

52 協会からのお知らせ「世界道路協会 (PIARC) グダンスク冬期道路会議論文募集のお知らせ」

54 橋梁調査会からのお知らせ「『世界の橋梁建設とメンテナンス』のお知らせ」

58 日本道路協会出版図書案内

巻末1 正会員入会のご案内

巻末2 図書発刊のご案内「道路技術基準 温故知新 - 道路関係技術基準の誕生から現在までの記録 -」

表紙写真 土佐の日曜日（高知市）

「土佐の日曜日」は元禄3年（1690年）以来、300年以上の歴史を持つ街路市で、年末年始とよさこい祭り期間を除く毎週日曜日、天候に関わらず開催される。高知のお城下追手筋において、全長約1.3kmにわたり、約420店が軒を並べ、新鮮な野菜や果物はもちろん、金物、打ち刃物、植木等も販売される。市が管理する街路市は日曜日のほか、火・木・金の週4日。各曜日に、場所を変えて開かれている。（写真提供：高知市）



Main Contents

4 Interview

Things Needed Most for Diverse Agents to Use Road Space
OGUSHI Yoko

Special Feature

How to Maximize the Use of Road Space by Diverse Agents

12 Establishment of Road Cooperative Body System
ISOGAWA Yasushi
TAKEMURA Masaki

16 "Street Market in Tosa," Supporting the Life of the Citizens -- Kochi City's Approach
NODA Shinya

20 Chiba's Civic Collaboration Report Applying Information and Communication Technology
SAITO Hitoshi

24 Training of the Human Resources for Road Operation and Maintenance through Industry-Government-Academia Cooperation -- Nagasaki University's Approach
TAKAHASHI Kazuo
MATSUDA Hiroshi
IKEDA Masaki

28 Naming Right Project Given to Corporate Enterprise Acting as a Place for Social Contribution -- Saitama City's Approach
FUKUYAMA Asako